

(様式1)

令和5年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県総合運動公園 都市計画課

2 施設所在地
富山市南中田

3 施設設置年度
平成5年度

4 設置目的
平成12年に開催された2000年とやま国体のメイン会場として整備された県内最大級の運動公園

5 施設概要
敷地面積：46.0ha
主な施設
・陸上競技場：37,344㎡ 400mトラック9コース、インフィールド芝生舗装（106×70m）
観客席約25,000人収容可能
・補助競技場：23,598㎡ 400mトラック7コース
・屋内グラウンド：6,354㎡
・芝生スポーツ広場：12,630㎡
・多目的広場：軟式野球場2面等 38,000㎡
・クロスカントリーコース：2.1km

6 指定管理者
公益財団法人富山県民福祉公園

7 指定期間
5年
令和4年4月1日 ~ 令和9年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人）

R1	R2	R3	R4	R5
825,440	659,124	690,456	769,460	782,158

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

R1	R2	R3	R4	R5
22,414	20,238	21,394	25,205	26,652

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R1	R2	R3	R4	R5
19,412	19,591	19,591	23,175	23,175

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

- ・利用者数は令和4年度比101.7% (12,698人増)、有料公園施設の料金収入は令和4年度比105.7% (1,447千円増)となった。
- ・Jリーグ公式戦、試合数の増(2試合)や開園30周年記念行事の実施により利用者が増加した。また、新型コロナウイルスの第5類への移行により、多くの大会やイベントが再開し、利用者が増加した。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・令和4年に引き続き、利用料金支払いのキャッシュレス決済が可能になっている。
- ・公園のロゴマークを富山大学芸術文化学部と協働制作した。
- ・30周年記念行事を実施した。
- ・フラワーエコガーデニング教室やスタジアムDEフィットネスなどのイベントを開催した。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・利用者ニーズに合わせ、供用日、供用時間を弾力的に運用した。
- ・冬期間に人気が高い屋内グラウンドについては、12～2月に限り休園日も営業した。
- ・会議室利用について、チラシにてPRを実施した。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	イベント参加者及び公園利用者へのアンケート
回答者数	802人
結果	<ul style="list-style-type: none">・緑の綺麗さやイベント内容などの高評価が多かった。・公園内の花木の手入れ等管理や職員の対応も好評だった。・園内の樹木に銘板があれば良いとの意見があった。
結果を踏まえた改善事項	順次樹木銘板を整備中

② その他利用者の声を反映させる取組み

- ・利用者、大会利用団体からの要望等をヒアリングした。
- ・利用団体との運営会議を実施した。
- ・近隣地区5自治会代表などで構成する利用促進協議会の開催した。
- ・園内3か所に意見箱を設置した。

③ 主な苦情と対応

- ・クロスカントリーコースで、道幅いっぱい広がってランニングする団体がいる。⇒クロスカントリーコースで団体のイベントを把握した場合は、スタート位置の分散化や時差スタート、追い越し時の右側走行などを団体責任者に注意喚起する。
- ・陸上競技場のシャワーの水温調整ができない。⇒温度調整できるシャワーに更新する修繕を県に要望し、工事が完了した。

(5) 個人情報保護の取組み

- ・個人情報に関する指針を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

- ・陸上競技場をホームスタジアムとするカターレ富山の公式戦や各種競技大会等の開催を全面的に協力した。
- ・利用者や地元自治会のボランティアにより、清掃、防犯パトロールなどを実施した。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に維持管理を行っている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

非常時の緊急連絡網、非常管理マニュアルを作成するなど、適切に危機管理・安全管理に取り組んでいる。

10 所管課の管理運営確認状況

- ① 定期報告の受理
- ② 維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③ 個人情報に関するトラブルの有無
- ④ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

-

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・利用者数や料金収入については、新型コロナウイルスの第5類への移行により、改善の兆候が見られる。指定管理者では、大型の試合・大会の誘致や利用の少ない冬期間のイベント等を行っており、利用促進と利便性の向上に努めていることが認められる。
・今後とも、富山県のスポーツの中核施設として、利用の呼びかけやニーズ把握を積極的に行い、利用促進・利用者へのサービス向上に努めるとともに、全国規模の大会会場としてふさわしい施設の維持に努めてもらいたい。